

# 予防技術検定模擬テスト

## - 解説付 -

No.11

**[共通] 問1** 火災の調査に関する次の文章を読み、消防法令上誤っているものを1つ選べ。

- (1) 消防長又は消防署長は、消火活動をなすとともに火災の原因並びに火災及び消火のために受けた損害の調査に着手しなければならない。
- (2) 消防長又は消防署長は、火災の原因等の調査をするため必要があるときは、関係のある者に対して質問をすることができる。
- (3) 関係保険会社の認めた代理者は、火災の原因及び損害の程度を決定するために火災により破損され又は破壊された財産を調査することができる。
- (4) 放火又は失火の疑いのあるときは、その火災の原因の調査の主たる責任及び権限は、司法警察職員、検察官又は検察事務官にある。

答

解説

- (1) 消防法第31条。
- (2) 消防法第32条。
- (3) 消防法第33条。
- (4) 消防法第35条第1項、「放火又は失火の疑いのあるとき」は、司法警察職員等が刑事訴訟法第189条～第196条等の定めるところにより捜査を開始するが、「火災の原因の調査」は犯罪の捜査とは別個の重要性を有するため、消防長又は消防署長の責任及び権限において行うこととされている。

**[消防用設備等] 問1** 消防用設備等又は特殊消防用設備等の点検及び報告に関する次の文を読み、消防法令上誤っているものを1つ選べ。

- (1) 延べ面積が1,500m<sup>2</sup>のホテルの関係者は、当該防火対象物における消防用設備等について、定期に、消防設備士免状の交付を受けている者又は消防設備点検資格者に点検させ、その結果を消防長又は消防署長に報告しなければならない。
- (2) 延べ面積が900m<sup>2</sup>の共同住宅の関係者は、当該防火対象物における消防用設備等について、自ら3年に1回点検し、その結果を消防長又は消防署長に報告しなければならない。
- (3) 延べ面積が5,000m<sup>2</sup>の百貨店の関係者は、当該防火対象物における特殊消防用設備等について、定期に、消防設備士免状の交付を受けている者又は消防設備点検資格者に点検させ、その結果を消防長又は消防署長に報告しなければならない。
- (4) 防火対象物における特殊消防用設備等の点検は、設備等設置維持計画に定める点検の期間ごとに行う必要がある。

答

解説

- (1) 消防法第17条の3の3、消防法施行令第36条第2項第1号。
- (2) 消防法第17条の3の3、消防法施行規則第31条の6第1項及び同条第3項第2号、消防長等に対する報告は3年に1回で良いが、点検の実施頻度が3年に1回という部分は消防法令上誤っている。
- (3) 消防法第17条の3の3、消防法施行令第36条第2項第1号。
- (4) 消防法第17条の3の3、消防法施行規則第31条の6第2項。

**[消防用設備等] 問2** 連結送水管に関する次の文を読み、消防法令上誤っているものを一つ選べ。

- (1) 地階を除く階数が7である消防法施行令別表第一に掲げる建築物には連結送水管を設置し、その放水口は双口形としなければならない。
- (2) 地階を除く階数が7である消防法施行令別表第一に掲げる建築物に連結送水管を設置する場合、当該建築物の3階以上の階に設ける放水口は、当該階のいずれの場所からも一の放水口までの水平距離が50m以下となるように、かつ、階段室等で消防隊が有効に消火活動を行うことができる位置に設ける必要がある。
- (3) 地階を除く階数が5である消防法施行令別表第一に掲げる建築物であっても、延べ面積が6,000m<sup>2</sup>以上のものには連結送水管を設置する必要がある。

答

解説

- (1) 消防法施行令第29条第1項第1号及び同条第2項第4号イ、放水口を双口形とする必要があるのは、建築物の11階以上の部分に設ける放水口である。
- (2) 消防法施行令第29条第1項第1号及び同条第2項第1号イ。
- (3) 消防法施行令第29条第1項第2号。

- (4) 連結送水管の送水口は、双口形とし、消防ポンプ自動車が容易に接近することができる位置に設ける必要がある。

- (4) 消防法施行令第29条第2項第3号。

**〔防火査察〕問1** 消防法の一部を改正する法律（平成19年法律第93号。以下「改正法」という。）の施行期日が平成21年6月1日と定められた。改正法第36条で義務付けられた防災管理を要する建築物に関する記述のうち誤っているものは次のうちどれか。

- (1) 法第8条第1項の防火対象物のうち、地階を除く階数が11以上で、延べ面積が1万m<sup>2</sup>以上の消防法施行令別表第一(4)項に掲げる防火対象物  
(2) 法第8条第1項の防火対象物のうち、地階を除く階数が5以上十以下で、延べ面積が2万m<sup>2</sup>以上の消防法施行令別表第一(5)項に掲げる防火対象物  
(3) 法第8条第1項の防火対象物のうち、地階を除く階数が4以下で、延べ面積が5万m<sup>2</sup>以上の消防法施行令別表第一(1)項に掲げる防火対象物  
(4) 法第8条第1項の防火対象物のうち、地階を除く階数が11以上で、延べ面積が5万m<sup>2</sup>以上の消防法施行令別表第一(5)項に掲げる防火対象物

答

解説

- (1) 消防法施行令第4条の2の4による。  
(2) 消防法施行令第4条の2の4による。  
(3) 消防法施行令第4条の2の4による。  
(4) 消防法施行令別表第一(5)項に掲げる防火対象物は階数、延べ面積に係らず、防災管理を要する建築物には該当しない。

**〔防火査察〕問2** 消防法の一部を改正する法律（平成19年法律第93号。以下「改正法」という。）の施行期日が平成21年6月1日と定められた。改正法第36条で義務付けられた防災管理を要する災害に関する記述のうち誤っているものは次のうちどれか。

- (1) 地震  
(2) 毒性物質（化学兵器の禁止及び特定物質の規制等に関する法律（平成7年法律第65号）若しくはこれと同等の毒性を有する物質の発散  
(3) 水災  
(4) 放射性物質若しくは放射線の異常な水準の放出

答

解説

- (1) 消防法施行令第45条による。  
(2) 消防法施行令第45条及び消防法施行規則第51条の3による。  
(3) 水災については、水防法（昭和24年法律第193号）により、一定の防災対策の実施が担保されているため、防災管理を要する災害ではない。  
(4) 消防法施行令第45条及び消防法施行規則第51条の3による。

**〔危険物〕問1** 灯油及び軽油に共通の性状について次のアからオのうち誤っているものはいくつあるか。

- ア 引火点は、35℃以上である。  
イ 蒸気は、空気よりも軽い。  
ウ 水に溶けない。  
エ 水より重い。  
オ 発火点は、100℃以下である。  
(1) 1つ (2) 2つ (3) 3つ (4) 4つ

答

解説 灯油及び軽油は第2石油類で、第4類の特徴である蒸気は空気よりも重く、水よりも軽い。発火点が100℃以下のものは特殊引火物に該当することになる。

〔参照条文〕

消防法別表第一

**〔危険物〕問2** 次のアからオまでの製造所等のうち、定期点検を行わなければならぬものの組み合わせで正しいものはどれか。

- ア 第1種販売取扱所  
イ 屋内タンク貯蔵所  
ウ 移動タンク貯蔵所  
エ 地下タンクを有する給油取扱所  
オ 簡易タンク貯蔵所  
(1) アとイ (2) イとウ (3) ウとエ (4) エとオ

答

解説 移動タンク貯蔵所と地下タンクを有するものは必ず定期点検が必要である。

〔参照条文〕

消防法第14条の3の2、危険物の規制に関する政令第8条の5

# 昇任試験実力養成講座・救急救命士国家試験問題模擬テスト・予防技術検定模擬テスト〈解答〉

## —— 昇任試験実力養成講座 ——

共通（消防士長・消防司令補）問題

### 〔自治法〕

問1 答 (5)

問2 答 (2)

### 〔地公法〕

問1 答 (5)

問2 答 (1)

### 〔消防組織〕

問1 答 (3)

### 〔消防教養〕

問1 答 (4)

問2 答 (2)

### 〔消防法規〕

問1 答 (1) ○ (2) × (3) ○  
(4) × (5) ○

問2 答 (3)

問3 答 (4)

問4 答 すべて誤っている。

### 〔消防設備〕

問1 答 (3)

問2 答 (1)

問3 答 (4)

問4 答 (1)、(4)

問5 答 (1)

問6 答 (5)

問7 答 (1)、(3)、(5)

問8 答 (5)

### 〔防炎〕

問1 答 (1) ○ (2) ○ (3) ×  
(4) ○ (5) ○

### 〔建築法規〕

問1 答 (3)

### 〔危険物〕

問1 答 (4)

問2 答 (3)

### 〔防災〕

問1 答 ①市町村

②生命

③地方公共団体

④防災

⑤法令

問2 答 (1)

問3 答 (2)

### 〔救急〕

問1 答 (1)

### 〔救助〕

- 問1 答 ①特別区  
②指定都市  
③五  
④救助工作車  
⑤特殊災害対応自動車  
⑥ウォーターカッター  
⑦大型プロア

### 〔石油コンビナート〕

問1 答 (3)

問2 答 (1)

### 〔原子力〕

問1 答 (3)

問2 答 (2)

### 〔無線法規〕

問1 答 (4)

### 〔無線工学〕

問1 答 (3)

### 〔国民保護〕

問1 答 (1)

問2 答 (2)

### 〔警防〕

問1 答 (5)

問2 答 (5)

問3 答 (5)

## 〔消防財政〕

問1 答 (4)

## 〔警防〕

問1 答 (2)

問2 答 (4)

問3 答 (5)

## 〔救急〕

問1 答 (4)

## —— 救急救命士国家試験問題模擬テスト ——

### 〔一般問題〕

問1 答 (2)

問2 答 (3)

問3 答 (1)、(4)

問4 答 (5)

## 〔状況設定問題〕

問1 答 (1)

問2 答 (2)

## —— 予防技術検定模擬テスト ——

### 〔共通〕

問1 答 (4)

### 〔消防用設備等〕

問1 答 (2)

問2 答 (1)

### 〔防火査察〕

問1 答 (4)

問2 答 (3)

### 〔危険物〕

問1 答 (3)

問2 答 (3)

## —— 消防 司 令 問 題 ——

### 〔組織管理〕

問1 答 (4)

### 〔人事管理〕

問1 答 (4)